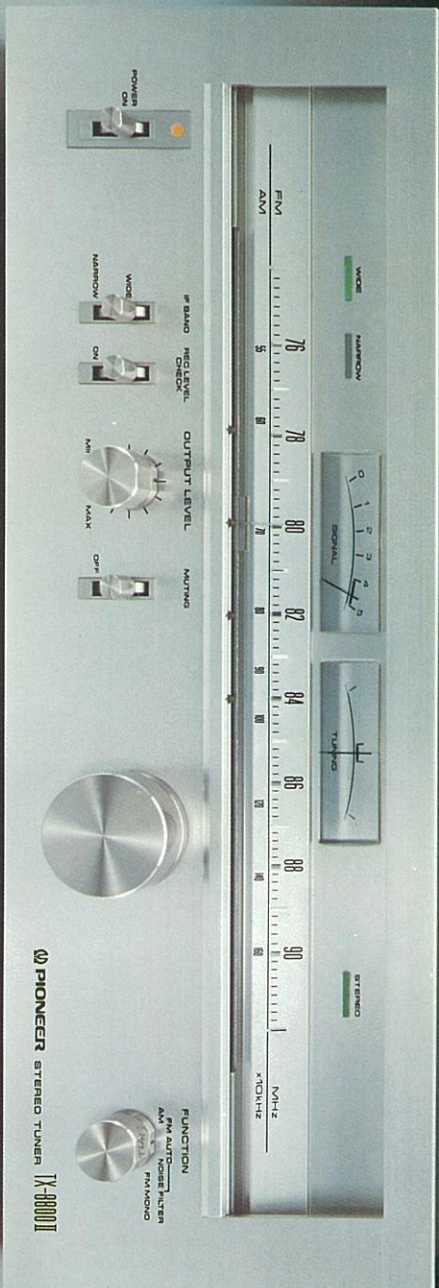


WIDE/NARROW IFバンド切換式
AM/FMステレオチューナー

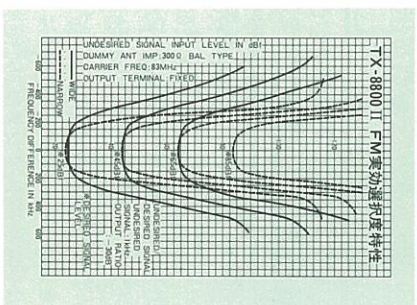
TX-8800II

¥46,800

パイロット信号オートキャンセル回路、選択度2段切換え、さらにRECLABELチップも装備
新開発専用ICを生かして、受信性能と音質を向上。

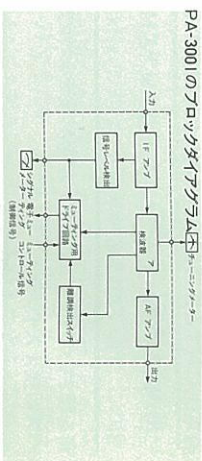


こでTX-8800IIでは選択度ワイド/ナロー2段切換



えを採用し、受信条件に合わせでセレクトできまわしかもこのIF段では新開発のハイオニア専用IC(PA-3001)で、検波段を低雑音・低ひずみ化し検波効率の向上を実現。同調特性を高め

て多少の同調ずれでもひずみの増加をおさえています。ナローバンドは2素子セラミックフィルター4個で高い選択度(80dB)を得るとともに、この新開発ICにより音質の劣化を防いでいます。そしてワイドバンドは、2素子セラミックフィルターを1個にしてこのICの特性をより發揮させ、ステレオ時でSN比75dBひずみ率0.1%(1kHz)のすぐれた音質です。



TX-8800 IIは、高い受信性能と、低ひずみ率、高SN比、広帯域再生などすぐれた音質を両立させた新鋭機です。回路には新開発のハイオニア専用ICを要所に採用するほか、選択度2段切換えやパイロット信号オートキャンセル回路など音質重視の設計。FM録音時に便利なRECLABELチップ回路も内蔵しています。

ニア専用IC群を開発し回路の要所要所に採用しています。これまで特性上有利なことが分つていても容易に実現できなかった回路が、新開発のICで可能になり受信性能と音質を向上させました。

感度と高い妨害排除能力をもち、かなり電波の弱い場所や雑音の多い場所でも、美しいFM受信が可能です。また、局部発振回路用パワコンのエアキャップを大きくとり、ダイアルスケールの目盛り精度を向上させ、より精度の高いチューニングを可能にしています。

高い受信性能とすぐれた音質の実現に、新開発のハイオニア専用ICが活躍。

1.8μV(新IH・10.3dB)の高感度と高い妨害排除能力。4連パワコンとデュアルゲートMOS型FETで構成したFMフロントエンド。

TX-8800 IIは高い受信性能を得るとともに、低ひずみ率、高SN比、広帯域再生など、すぐれた音質の実現に力をそそぎました。そのためハイオニアの高いエレクトロニクス技術で、新しいハイオ

TX-8800 IIのFMフロントエンドは、4連パワコンと雑音指数の低いデュアルゲートMOS型FETによる構成。これにより1.8μV新IH・10.3dBの高

IF部はWIDE/NARROWの選択度2段切換えを採用。新開発ICでSN比向上とひずみの低減をはかっています。実効選択度特性は受信局に隣接する妨害波を排除する能力ですから、選択性能の面ではナローな特性が望まれます。しかしSN比やひずみ率など音質面では、選択度をワイドにした方が有利です。そ

MPX部には、広帯域再生を可能にするハイオニア信号オートキャンセル回路内蔵の新開発ICを採用。FMステレオ放送には、左右チャンネル分離用に19kHzのハイロット信号が含まれています。この信号が再生音に混入しないようローパスフィルターでカットするのが一般的ですが、フィルターの使用はどうしても再生音に影響をあたえやすく高域を

